新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

『街灯と税金』

新潟県三条市立下田中学校　三年　小林（こばやし）　美織（みおり）

最近、私の家の近くに街灯が設置されました。部活が終わって帰ってくると暗くなって怖かった道が、街灯のおかげで今は明るくなり通りやすくなっています。地域の人の声を聞いてできた街灯ですが、どこからでたお金でできているのか不思議に思い、調べてみました。そこには、「自治会」と「税金」のお金だと書いてありました。自治会は地域に関わっているから納得できたけれど、税金については良いイメージがなく、納得できませんでした。

自分の思う税金のイメージは、よく分からないままお金をとられている感じです。中学生の私にはお金に触れる機会が少ないため、税と言われると消費税しか思いつきません。

実際は約五十種類以上の税金の種類があります。税金は政治に使われる以外でも道路の整備、教育、新潟県などの雪国ならではの除雪なども行っています。

もし、税金がなかったらと考えたことはありますか。私は消費税がなかったらもう少し安く物を買うことができるのにと思ったことがあります。

税金がなくなることのメリットは、お金は自分のためだけに使うことができることです。物を買ったら物の値段だけのお金を払えばよいのです。

逆にデメリットとして上げられるものにはどのようなことがあるのでしょうか。私が思うには、警察や消防などに助けを求めるときでもお金がかかってしまうそうです。私が助かったように暗い道に街灯をつけることも自己負担となってしまいます。小中学生の教育を受けることにもお金がかかります。

このように、税金のメリットとデメリットを考えると、税金がないと困るため、税金は大切だと思います。最初は税金には良いイメージがなく、所得税などはなぜ自分がかせいだお金がとられてしまうのか疑問に思いました。ですが、街灯が税金でできていることを知ってから、「税」という言葉に対するイメージが良い方向へ変わりました。

今年の七月に学校で租税教室がありました。その時に学んだ言葉があります。「税金はよりよい社会をつくるための会費」という言葉です。私はこの言葉にとても感動しました。自分が税金という形で少しだけお金を多く払うことで、国のため、みんなのため、自分のため、さらには自分が困ったときのためのお金になると知りました。地域が日本が世界がよくなるため、と思って税金はボランティアだと思って税に関わる考えを改めてほしいです。

私は街灯というどこにでもあるものから、税金という大きなものを学べた気がします。大人になったらもっとたくさんの税金を払わないといけないかもしれないけれど、税金で安心した暮らしができることが楽しみになりました。